

2018 西宮市小学校区防災訓練 「子ども防災コーナー」担当

2018年5月27日(日)：神原小学校

参加者：約100名

2018年10月21日(日)：甲子園浜小学校

参加者：約70名

2018年11月11日(日)：段上小学校

参加者：約100名

2018年12月2日(日)：用海小学校

参加者：約115名

2019年2月24日(日)：上ヶ原南小学校

参加者：約75名

一昨年、昨年に引き続き、子ども向けの防災教育ツール「防災ウォッチ」を用いて、西宮市防災啓発課主催の小学校区防災訓練における「子ども防災コーナー」を担当しました。「防災ウォッチ」とは、災害発生時に危険となるものや、身を守ってくれるものを妖怪に見立てた子ども向けの防災教育ツールです。現在までに67種類のキャラクターが作成されました。

今年度の活動は、5月に予定されていた春風小学校での防災訓練が悪天候のため中止となり、全5校での開催となりました。いずれもグラウンドで防災ウォッチのキャラクターを探し、キーワードを集めてもらう形式で行いました。妖怪キャラクターは、消火器体験や煙体験など各コーナーの体験内容に沿ったものを近くに貼るなど、子どもたちが自然とグラウンドを一周できるように考えながら設置しました。



キーワードラリーのコースは、キーワードを集めるだけでよい天国コースと、防災に関するクイズの答えがキーワードとなる地獄コースの二つがあります。子どもたちの自主性を大切にしながら

コースを選んでもらったところ、両方挑戦してくれる子どももたくさんいました。コースによって異なる妖怪キャラクターが登場するので、よりたくさん知識を身につけてもらえたのではないかと思います。



神原小学校では活動の様子の取材があり、宮っ子神原地区版に子ども防災コーナーについても掲載いただきました。また、防災班の活動の一つとして、朝日新聞にも取り上げていただきました。西宮市小学校区防災訓練での本プログラム履修生の活動について広く知っていただく機会をくださり、心より感謝いたします。

次年度も引き続き地域創りリーダー養成プログラムで子ども防災コーナーを担当する予定です。「防災ウォッチ」を通して、西宮市の小学生への防災教育に貢献できるよう、頑張っていきたいと思えます。

今年度の西宮市小学校区防災訓練「子ども防災コーナー」に関わってくださった全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。